

運動部活動の意義と運営上の課題 —運動部顧問の在り方を探る—

The Significance of Sports Club Activities and Issues with the Conduct of those Activities : Examining the role of sports club advisors

松 井 慎 一

Shinichi MATSUI

I. はじめに

運動部活動は、スポーツに興味・関心のある同好の生徒の自主的・自発的な参加により、顧問の指導の下、学校教育の一環として行われ、体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場として、教育的意義が大きい。しかしながら、今日においては、社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化するとともに、運動部活動においては、従前と同様の運営体制では維持が難しくなってきている。

このような状況の中、平成30年3月にスポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を示した。このガイドラインは、

- 1 適切な運営のための体制整備
- 2 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

3 適切な休養日の設定

4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備

5 学校単位で参加する大会等の見直し

の5項目からなるが、作成過程においては、運動部活動の法的位置付けの曖昧さ、指導者の質・量の確保、少子化、衰退する地域等を踏まえながら、どのように子供のスポーツ権を保障するのかという点を重視したという報告があった。

今回の研究においては、子供のスポーツ権の保障という点を意識しながら、このことに大きな影響を与える運動部活動顧問の在り方について、今後の方向性等を探ることとした。

II. 研究方法

- ・ 国士舘大学体育学部学生359名を対象にしたアンケートの実施
- ・ 文献研究

1. アンケートの内容

質問項目	回答選択肢
あなたは中学校の保健体育科教員として、運動部活動の顧問を引き受けますか。 (1つを選択)	1 校長に頼まれた部活動の顧問を引き受ける
	2 自分が選んだ部活動であれば顧問を引き受ける
	3 様々な事情が理解できたら顧問を引き受ける
	4 引き受けない
あなたは運動部活動の顧問として、どのような部活動運営を目指しますか。 (優先順位1位～4位を付ける)	1 勝利を何よりも優先する
	2 部員の競技力向上
	3 部員の体力向上
	4 部員の人格等形成
あなたは運動部活動の顧問として、次の生徒の入部を認めますか。 (各項目に可否を付ける)	1 他の部活動との兼部を希望する生徒
	2 塾や習い事があるので、活動参加に制限がある生徒
	3 平日の活動のみ参加を希望する生徒
	4 専属トレーナーの利用を希望する生徒
あなたが中学校・高等学校で指導を受けた運動部活動の顧問について答えてください。 (1つを選択)	1 大変信頼できた
	2 信頼できた
	3 信頼できなかった
	4 まったく信頼できなかった
あなたは運動部活動の顧問として、部員から信頼されるためには何が重要だと考えますか。 (上位3つを選択)	1 高い専門性
	2 情熱
	3 よい結果を残す
	4 部員の意見をよく聞く
	5 学業を大切にさせる
	6 むやみに怒らない
	7 その他
あなたが考える中学校における運動部活動の課題と解決策について記入しなさい。	自由記述

※ なお、各項目で選択した回答には、その理由を記述する。

Ⅲ. 研究結果概要

1. アンケートの結果概要

- ・運動部活動を引き受けるかという質問では、98%の学生が引き受けると回答している。無条件で校長の打診を受けるという回答が一番多かったが、条件等が合えば引き受けるという回答も多かった。
- ・どのような運動部活動運営を目指すのかという質問では、部員の人格等形成、競技力向上、体力向上、勝利最優先という順であった。勝利を目指すプロセスに教育的価値があると考えている学生が多いということであろう。
- ・生徒の多様なニーズへの対応に関する質問では、他の部員との関係性に配慮して回答している様子が感じられる。
- ・指導を受けた顧問に関する回答では、約90%の学生が顧問を信頼して部活動に取り組んできたと回答している。
- ・運動部活動の顧問として、部員から信頼されるために何が重要だと考えますかという質問では、部員の意見をよく聞く、高い専門性、情熱の3つが上位を占めた。生徒たちの主体的活動を担保するとともに、部活動顧問には高い専門性と熱心に向き合うことが重要であり、そのような顧問に指導を受けてきた経験を踏まえた回答結果だと感じる。

2. アンケート自由記述（中学校における運動部活動の課題と解決策）の概要

- ・教員の負担過重。教材研究や校務分掌がおろそかになってしまうことなどから教員の負担を軽減する必要がある。そのためには、外部指導員の積極的導入、地域スポーツへの移行等が考えられる。
- ・体罰やハラスメントの防止。講習会を実施したり、複数の顧問で管理したりするなどが考えられる。ハラスメントは受け手の感じ方なので、部員に必要な負荷を与えることに顧問がため

らってしまうことなどは心配である。コミュニケーションが重要である。

- ・生徒の多様なニーズへの対応。競技力を高めて結果を残したい生徒、仲間たちと競技を楽しみたい生徒、健康で過ごすための体力を身に付けたい生徒、複数の部活動に取り組みたい生徒等、様々な目的の生徒にどのように対応するのか。学校全体での共通理解が必要。
- ・休養日の設定。部活動によっては十分な休養日が設けられていない。効率的な練習を工夫するとともに、学業等に支障が出ないよう、学校全体で管理する。

3. 考 察

本学体育学部学生の多くは、本学部において、教職について学んだり、日頃の部活動で感じたりしたことを踏まえ、運動部活動の在り方について、生徒又は指導者の立場から、多様な視点で考えている様子がうかがえた。

個々の学生により回答結果に違いはあっても、一人一人が学校組織の一員として顧問を担うことの意味、誰のためにどのような部活動運営を行うのか、生徒の健全育成上必要であれば多様なニーズにも応えるべきであろう、といったことを考えながら、回答していたと感じる。

Ⅳ. ま と め

平成24年12月、大阪市立高等学校のバスケットボール部主将が、顧問の執拗な体罰等を苦にして自殺した事件は大きな社会問題となった。それから5年以上経過した平成30年には、大学アメリカンフットボールの試合において、監督の指示により相手チームの主力選手に危険なタックルをして大怪我を負わせた事件や大学チアリーディング部員に対する顧問のパワーハラスメントなど、体罰ではないが非常に悪質な行為が続いた。

一方、運動部における外部指導員の積極的導入、複数顧問体制等、適切な指導・管理体制の整備も

進められている。働き方改革が推進され、学校、地域、企業等が連携し、子供たちのスポーツ権を保障することが重要であるとともに、子供たちと向き合う学校現場の教員は、いつの時代においても、与えられた条件の中で生徒たちにより良い指導を行う義務があると考えます。今回の調査で、学生たちの意識を知ることができたが、実際に顧問教員として勤務するとどう変化するのかなど、今後、研究を継続する必要があると感じる。子供たちの健全育成上、大変重要な運動部活動の充実のため、良質の指導者確保は欠かせない問題である。

引用・参考文献

- 1) 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月)
- 2) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (平成29年7月 文部科学省)
- 3) 運動部活動の理論と実践 (友添秀則編著 大修館書店)
- 4) 運動部活動の教育学入門 (神谷拓著 大修館書店)
- 5) ブラック部活動 (内田良著 東洋館出版)
- 6) 現代スポーツ評論32号 (2015年5月20日 創文企画)

運動部活動の意義と運営上の課題
 —運動部顧問の在り方を探る—

アンケート集計表（数値）

参考資料

あなたは中学校の保健体育科教員として、 運動部活動の顧問を引き受けますか	学	アス	トレ	武	医	他	計
1 校長に頼まれた部活動の顧問を引き受ける	74	20	9	18	4	4	129
2 自分が選んだ部活動であれば顧問を引き受ける	25	46	12	39	1	2	125
3 様々な事情が理解できたら顧問を引き受ける	38	28	10	19	3	1	99
4 引き受けない	0	2	2	2	1	0	7
あなたは運動部活動の顧問として、 どのような部活動運営を目指しますか	学	アス	トレ	武	医	他	計
1 勝利を何よりも優先する	164	159	50	105	12	9	499
2 部員の競技力向上	290	242	92	177	17	19	837
3 部員の体力向上	185	173	71	120	17	12	578
4 部員の人格等形成	322	298	107	213	24	20	984
あなたは運動部活動の顧問として、以下の生徒の入部を認めますか	学	アス	トレ	武	医	他	計
1 他の部活動との兼部を希望する生徒	82	46	19	26	9	7	189
2 塾や習い事があるので、活動参加に制限がある生徒	99	67	27	50	9	6	258
3 土日等に用事があるため、平日の活動のみ参加を希望する生徒	90	58	24	41	8	5	226
4 専属トレーナーの利用を希望する生徒	53	21	5	22	5	3	109
あなたが中学校・高等学校で指導を受けた 運動部活動の顧問について教えてください。	学	アス	トレ	武	医	他	計
1 大変信頼できた	79	55	17	50	7	2	210
2 信頼できた	46	29	9	21	2	4	111
3 信頼できなかった	9	9	5	6	0	0	29
4 まったく信頼できなかった	3	3	2	1	0	1	10
あなたは運動部活動の顧問として、 部員から信頼されるために何が必要だと考えますか。	学	アス	トレ	武	医	他	計
1 高い専門性	107	64	26	60	8	6	271
2 情熱	81	57	10	46	4	3	201
3 よい結果を残す	34	36	13	26	3	2	114
4 部員の意見をよく聞く	108	76	25	55	7	5	276
5 学業を大切にさせる	44	33	13	25	1	4	120
6 むやみに怒らない	26	17	9	21	3	1	77
7 その他	11	5	3	1	1	0	21

1・4は1選択 2は1～4順位付け（1位4点～4位1点） 3は各〇× 5は上位3選択

学：体育学科学校体育コース アス：体育学科アスリートコース トレ：体育学科スポーツトレーナーコース

武：武道学科 医：スポーツ医科学科 他：大学院生、科目等履修生